

令和元年5月1日号 編集／発行 瀬戸市議会

せと Seto City Assembly 市議会だより

No.83
平成31年
3月
定例会

平成31年度当初予算を徹底審査

今回の表紙写真は番野由美様からご応募いただきました。

番野
様
から
の
コ
メ
ン
ト

この写真は、愛犬の朝の散歩の時に撮影しました。
定光寺公園は、四季折々色々な景色が楽しめて、
とても素敵な公園なので大好きです。

議会だより表紙写真の応募要領が変わりました!

「議会だよりの表紙写真」の応募要領が変わり、人物が写っている写真についても応募が可能になりました。
あなたが撮った市民がいきいきと暮らす街角スナップで、議会だよりの表紙を飾ってみませんか？
応募方法の注意事項については、瀬戸市議会ホームページからご覧いただくか、議会事務局までお問い合わせください。
たくさんのご応募をお待ちしています。

予算大綱説明

市長が平成31年度当初予算を編成するに当たっての考え方を紹介します。



瀬戸市長
伊藤保徳

平成31年度当初予算案は、「未来への投資」を強く意識した編成となっています。「まちづくりは人づくり」との考え方を基本とし、人づくりの予算に力点を置く予算となっています。

第6次瀬戸市総合計画に掲げた3つの都市像のうち「安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち」の達成にむけ、小中一貫校「にじの丘学園」の竣工・開校にともなう事業費のほか、大規模改修やエアコンなどの新しい教育環境を整備することとしています。

また、企業の活力を伸ばし、地域経済を活性化させること、市民活動・地域活動による地域の安全・安心の向上を図る取り組みや市民が健康で暮らすための事業などの予算化が図られたものとなっています。

Q：市議の質問

A：市の回答

代表質問

3月定例会では、5人の議員が会派を代表して代表質問を行い、新年度の予算や市政運営についてそれぞれ質問をしました。質問を行った順に各会派2問ずつ主な質問と答弁を紹介します。



自民新政クラブ
三木 雪美

6次総スタートの2年間の評価について

Q1 第6次総合計画のスタートを1年先送りし、新市長としての思いもそこに込められたものと考えているが、目指す3つの都市像の実現に向けたキックオフの2年間でどう評価しているか。

A1 6次総の前後を通し、財政規律を遵守する中で将来への施策展開ができており、年間の人口転出入の増減を見ると平成28年度以降、3年連続で社会増が続いており、キックオフ期間としての2年は、意図したことが概ね実現できたものと考えている。

小中一貫教育への取り組みについて

Q2 小中一貫校新設、小中一貫教育の導入という瀬戸市教育行政の大転換点において、市長および市はどのような姿勢で、また意気込みで取り組みもうとされているのか伺う。

A2 教育は「人を育て、まちを育てる」ものと考えており、その実現には瀬戸の未来をひらく子ども達が夢と希望を育める教育環境や支援の体制が不可欠である。2020年度から始まる小中一貫教育は、これまでの教育行政を根本から見直し、我が国のモデルとなれるよう、カリキュラムや通学方法など市長自らが先頭に立って開校に向けた準備にまい進していく。にじの丘学園開校後の跡地利用については、本市全体やにじの丘学区エリアのまちづくりの観点から各地区の皆さんと丁寧に対話を重ね、本市の抱える課題を共有しながら検討を進めたいと考えている。



ネットワークせと
中川 昌也

税収を増やす政策の必要性について

Q1 企業誘致の実現は、税収を増やす効果だけでなく、市民の安定的な雇用を生み出す効果や地域の定住人口増につながる大切な政策であり、品野地域の企業誘致と中水野駅周辺の区画整理事業のタイミングが合わなければ政策の意味が薄れてしまう事も否定できないので、取り組み方について市長の考えを伺う。

A1 中水野駅周辺のまちづくりは、将来性の高い拠点として都市機能の誘導を図っていく。また、既存の工業団地に隣接した企業誘致では、定住促進、雇用の充実、税収増など相乗的効果が発揮できるよう両事業の進捗を確認しながら取り組む。

市政全体のマネジメントについて

Q2 自治体運営には、組織の基本方針を示し、組織の目標設定、目標を達成するための経営資源の効率的活用、リスク管理を実施するマネジメントが必要と言われており、市政全体のマネジメントを明らかにする必要があると考えるが、市長の考えを伺う。

A2 第6次総合計画のもと、都市像ごとの達成指標のような大枠での評価指標を示すとともに、向上・改善につながる効果的な施策や事業を検討し、わかりやすく市民に説明していくことが重要であると考えている。

市役所を運営する上で統治能力や法令順守を基本に健全に行われたのか



せと未来
白井 淳

Q1 組織改編にあたり、条例改正案を二度提出し、1度目は議会中に撤回し、2度目は原案を議会が修正した。また前教育長が情報漏えいにより辞職した問題や公文書の記録を作らないなど、ガバナンスに問題があると言わざるを得ないが、市長としての問題意識や指導はどうであったのか。

A1 ガバナンスについては、事務全般を統轄し、市を代表する立場にある私自身の意識が重要であることは認識している。これまで以上に、組織のマネジメントの強化や事務の適正性の確保に努め、職員の育成や指導に当たり、的確な内部統制を進めていく。

困難をかかえる子どもへの対策強化が必要ではないのか

Q2 野田市で起きた虐待事件では、学校にSOSのメッセージを出していたが、大人の都合が優先され子どもが犠牲になっている。今回の事件についてはどのような危機感を持っているのか。また、現状の教育や福祉に課題はないのか。

A2 野田市の事件については他人事ではないという危機意識を持ち対応する必要があると考えている。児童虐待に対処するには家庭児童相談室などの専門機関の強化はもちろんのこと、子どもに関わる全ての関係機関における安全確認体制の確立と虐待発生時の迅速かつ毅然とした対応の確保が喫緊の課題と考えている。

経済動向と財政運営について



公明党瀬戸市議員
島原 治美

Q1 国、県及び本市の経済状況をどのように分析し、健全で持続可能な財政基盤の確立のために、何に重点をおいて新年度の予算編成に取り組まれたのか。

A1 国の経済対策等の効果も踏まえ、景気の動向は現状の状況が続くものと考えている。こうした中、第6次総合計画に基づく施策を持続的に展開していくための財政基盤を強化するため、平成31年度は活力ある地域経済の実現に向けた取り組みを着実に進めるための予算を編成した。

第6次総合計画で掲げた目標の評価について

Q2 第6次総合計画で掲げた目標の達成状況をどのように評価し成果を実感しているのか。また、国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)の理念の下「誰一人取り残さない」社会を目指し、市制施行100周年に向け、今後の市政運営について伺う。

A2 3つの都市像を掲げ、さまざまな取り組みを進め、平成28年以降、社会増が続いていることが、一定の成果である。また、人口構成や財政基盤を将来にわたり持続可能なものにしていくことを目指し、「住みたいまち誇れるまち新しいせと」の実現を目指し、職員一人一人がチャレンジスピリッツをもって、各種取り組みを進めていく。

ため込んだ基金は、市民の切実な暮らし・福祉に使うべき



日本共産党瀬戸市議員
浅井 寿美

Q1 2019年度の過去最高の予算の中に基金(貯金)の取り崩し17億6千万円が入っている。そもそも基金は、収入と支出の差額分(黒字)からつくられるもので、市は3年分の黒字45億円の中から約31億円を貯金した。本来充実にすべき市民サービス、例えば高齢者の移動手段確保や国保料、介護保険料引き下げのための予算が削られていないか。

A1 公共施設更新需要などの高まりの中で、新財政規律は安定的な市民サービスの提供に不可欠。平成31年度は福祉サービス等に必要予算として民生費、衛生費、教育費で全体の67%確保している。

改善要望の強いコミュニティバスと、小中一貫校の通学について

Q2 コミュニティバス運行から10年目となる。改善された路線は乗客が増え、喜ばれているが、地域包括支援センターの職員や交通安全団体の皆さんからも依然として改善要望が強いことをどう認識するか。また、一貫校への遠くなる通学や、路線バスに自己負担が発生する不安から、引越しまで考え始めている保護者の思いをどう認識しているか。

A2 コミュニバスには多くの要望がある。新しい計画への意見聴取では、公共交通のあり方そのものへの意見を集約する。一貫校通学については、今後も丁寧に説明しご理解いただきたい。

平成31年度当初予算を徹底審査

Q：市議の質問
A：市の回答

各分科会の主な審査内容をお知らせします。

総務生活分科会

学校跡地活用

Q1 学校跡地利用と再整備の基本方針は。また市民との合意形成はどのようにするのか。
A1 学校跡地の利活用については、地元との合意形成が必須であると認識している。地元との議論を引き続き丁寧に進め、合意形成に至りたいと考えている。全体としては平成29年3月に策定した「瀬戸市公共施設等総合管理計画」にもとづいて管理していく。

地域力向上プラン推進

Q1 地域力向上委員会が未組織である地域が5地域ある。すべての地域の組織があることが理想であるが、組織化にむけた支援をどのようにしていくのか。
A1 未組織地域の方々には様々な機会を通じてお話しさせていただいている。今後においても同地域で各種団体が情報を共有し、連携や協力を図るためのプラットフォームの構築をお願いしていく。

防災資機材購入

Q1 防災資機材の備蓄達成率は55%程度と聞いているが、今後どのように備蓄を進めていくのか。
A1 備蓄については平成30年度末までに品目数で60%を達成する予定である。今後は水や食料などの期限のあるものの買い替えをしていく。新たな買い足しは困難であり、それについては災害時の協定を活用していく。



市役所北側にある防災備蓄倉庫

財政全般

Q1 瀬戸市は今後、400億円を超える規模で予算が構成されていく。これからの公債費はどのように変化するのか。
A1 借入額が増大する平成30、31年度の元金の償還が発生するのが、平成34年度以降となり、ここから公債費が増加し、ピークは平成35年度となる見込み。この年度には約26億の償還が発生する試算をしている。

教育カリキュラム

Q1 委員会でも提言をした小中一貫校のカリキュラムの作成と公表であるが、開校まであと1年となった現在の状況を伺う。
A1 一貫校のカリキュラムであるが平成30年度末には大方のものを示していく。基本的には学習の基礎基本の定着とともに対応力をのばしていく。この2つの視点から協働型解決能力を育成していく。



小中一貫校の教育プログラム

厚生文教分科会

地域リハビリ

Q1 地域サロンの応援事業ということのリハビリ専門職を派遣するということであるが、包括支援センターや地域力向上委員会などを活用しての推進はどのようなものか。また地域によって差が出てくる場合が考えられるがどのような対応をしていくのか。
A1 理学療法士や作業療法士を包括支援センターを通じて全市的に派遣していくが、やはり多くの方が集まる場所に派遣をしていきたい。そのためには地域力向上委員会の力も必要であると感じている。また県の健康づくりリーダーにもお願いをしていく。さらに多くの方々に参加をしていただくのが今後の課題である。

平成31年度予算

一般会計予算・・・417億4,000万円(前年度比8.6%増) 特別会計予算・・・269億200万円(前年度比△2.3%) 企業(水道)会計予算・・・35億2,854万5千円(前年度比△11.0%)

地域包括ケアシステム

Q1 将来的により良い地域包括ケアシステムにしていくために^{しっかい}悉皆調査は必要だと考えられる。一般質問でも取り上げられたが今一度見解と方向性を伺う。
A1 ^{しっかい}悉皆調査については費用やマンパワーも必要になってくる。調査のやり方は研究を重ねているが今すぐ本市で^{しっかい}悉皆調査を行うのは困難だと判断する。既存の調査で進めていくが、引き続き^{しっかい}悉皆調査に近づけるものができるか関係先と検討していく。
※^{しっかい}悉皆調査：全体にわたって漏れなく、また重複することなく調査する方法

保育園待機児童

Q1 公立園での受け入れを増やすために、定員の拡大、保育園の復活などが必要ではないか。
A1 公立園での受け入れの拡大とあわせて、民間園の保育士の待遇改善、環境整備などを考えていきたい。



市内の公立保育園

学習支援

Q1 2か所目の学習支援が決まり、待機の状況は解消されるが、1か所目で増えた児童生徒を支援するため学生ボランティアは以前より多く参加している。全員に謝金が渡るよう学生自ら1人当たりの単価を下げる動きがあるが、必要な人員には規定の謝金を払って体制を維持すべきではないか。
A1 全てをお金でまかなうのはどうかと考えるが、有償ボランティアという考え方もあるので、瀬戸市としてどういう体制で維持していくのか考えていきたい。

都市活力分科会

企業誘致推進

Q1 品川ゴルフ場跡地における企業誘致の現状について伺う。
A1 7月に契約を済ませて、所有権は瀬戸市に移転されている。造成について県企業庁と相談している。複数の企業から問い合わせもいただいており、今後、売却方法などについても検討していくところ。

Q2 平成31年度末までにどれだけまとめていくのか。

A2 産廃処理や造成方法については、進出希望企業と協議し年内にはプロポーザルを含め決定していきたい。

菱野団地再生

Q1 平成31年度にどのような団体を立ち上げ、どのような事業を行っていくのか。
A1 これまで再生計画の検討を行ってきた委員会を、推進協議会に移行し計画の進捗管理を行っていく。また、地域住民が主体となって立ち上げの準備が行われている。「(仮称)未来の菱野団地をみんなてつくる会」と連携し、先行プロジェクトを進めていく。

Q2 センター地区整備はどのように進めていくのか。
A2 センター地区整備については、住民の意見を聞きながら、今後の活用方針や整備手法を検討していく。

瀬戸サイト

Q1 跡地活用について現在どのようになっているのか。
A1 建物は使えないので取り壊していくことになるため、サウンディング調査を実施した。民間活力の導入を念頭に今年中に利活用が決まってくる。直営は考えていない。
※サウンディング調査：活用方法について民間事業者から広く意見を求め、市場性などを把握する調査

中水野区画整理

Q1 区画整理事業エリア20haについて、仮同意はどのような状況にあるのか。今後の事業予定は。
A1 現況測量調査については、90%の同意を得て実施した。組合設立まで約3年を想定しているが、市の助成条例制定など、地権者の理解がさらに浸透していくよう努めていく。



中水野駅周辺の様子

3月定例会の主な議案概要

第2号議案 瀬戸市デジタルリサーチパークセンター条例の一部改正について

これまで一般の使用ができなかった部屋を会議室として貸出施設に追加することで、利用者の利便性向上を図るもの。



デジタルリサーチパークセンター

第4号議案 瀬戸市議会の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について

常任委員会（総務生活、厚生文教、都市活力）及び議会運営委員会の委員長及び副委員長の月額を、委員長10,000円、副委員長5,000円加算するもの。

第10号議案 瀬戸市母子・父子家庭等医療費助成条例の一部改正について

母子・父子家庭等医療費助成受給資格の所得判定年次時期を児童扶養手当の所得判定年次時期と統一することで、医療費助成と児童扶養手当支給との間で受給資格者に差を生じさせないようにするもの。

第27号議案 瀬戸市自然環境等と太陽光発電設備設置事業との調和に関する条例の制定について

一定規模を超える太陽光発電設備設置事業に関し、法令に基づく手続きに先行し申請を受理することで、市と地域住民等があらかじめ事業内容を把握することが可能となる。また、事業内容に関し地域住民等が事業者意見に意見を述べる機会を得られることで、自然環境等と太陽光発電設備との調和を図りながら、良好な自然環境等の保全に寄与することが期待できる。

第28号議案 瀬戸市国民健康保険条例の一部改正について

保険料の基礎賦課限度額を3万円引き上げるにより、中間所得者層の被保険者の保険料負担に配慮した見直しが可能となる。また、経済動向等を踏まえ、軽減判定所得を見直すことにより、現在の対象世帯が引き続き軽減を受けることができるようになる。

請願

請願第1号 農協改革に関する意見書の提出を求める請願

信用事業譲渡及び准組合員利用規則の導入は、JAの主権者たる組合員の判断に基づき慎重に対応することについて、意見書を国に提出するもの。

請願第2号 上品野地区通称北山団地に於ける太陽光発電施設建設についての請願

事業者に対して、北山団地住民の意見を十分尊重した見解を述べられるとともに、適切な指導を行うよう要望する意見書を、瀬戸市長に提出するもの。

議員提出議案

第2号議案 瀬戸市議会基本条例の一部改正について

議会が、市民に対し議案等の審議の経過及び結果について報告し、市民の意見を的確に把握し市政に反映させるため、市民との意見交換会を開催するよう改正するもの。

第3号議案 瀬戸市委員会条例の一部改正について

常任委員会の任期を1年から2年とし、後任者が選任されるまで在任とするもの。

3月定例会議案一覧

◆市長提出議案

議案番号	件名	採決結果
第2号議案	瀬戸市デジタルリサーチパークセンター条例の一部改正について	可決（全会一致）
第3号議案	瀬戸市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第4号議案	瀬戸市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第5号議案	瀬戸市市税条例等の一部改正について	可決（全会一致）
第6号議案	学校教育法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決（全会一致）
第7号議案	瀬戸市火災予防条例の一部改正について	可決（全会一致）
第8号議案	瀬戸市介護保険条例の一部改正について	可決（全会一致）
第9号議案	瀬戸市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決（全会一致）
第10号議案	瀬戸市母子・父子家庭等医療費助成条例の一部改正について	可決（全会一致）
第11号議案	市道路線の認定について	可決（全会一致）
第12号議案	瀬戸市水道法施行条例の一部改正について	可決（全会一致）
第13号議案	平成30年度瀬戸市一般会計補正予算（第8号）	可決（賛成多数）
第14号議案	平成30年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
第15号議案	平成30年度瀬戸市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第16号議案	平成30年度瀬戸市春雨墓苑事業特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第17号議案	平成30年度瀬戸市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
第18号議案	平成30年度瀬戸市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第19号議案	平成31年度瀬戸市一般会計予算	可決（賛成多数）
第20号議案	平成31年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計予算	可決（賛成多数）
第21号議案	平成31年度瀬戸市下水道事業特別会計予算	可決（賛成多数）
第22号議案	平成31年度瀬戸市春雨墓苑事業特別会計予算	可決（全会一致）
第23号議案	平成31年度瀬戸市介護保険事業特別会計予算	可決（賛成多数）
第24号議案	平成31年度瀬戸市後期高齢者医療特別会計予算	可決（賛成多数）
第25号議案	平成31年度瀬戸市水道事業会計予算	可決（賛成多数）
第26号議案	瀬戸市職員の自己啓発等休業及び修学部分休業に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第27号議案	瀬戸市自然環境等と太陽光発電設備設置事業との調和に関する条例の制定について	可決（全会一致）
第28号議案	瀬戸市国民健康保険条例の一部改正について	可決（賛成多数）
第29号議案	平成31年度瀬戸市一般会計補正予算（第1号）	可決（賛成多数）
第30号議案	平成30年度瀬戸市一般会計補正予算（第9号）	可決（全会一致）
同意第1号	瀬戸市教育長の任命について	同意（賛成多数）
同意第2号	瀬戸市固定資産評価員の選任について	同意（全会一致）
諮問第1号	人権擁護委員の推薦について	同意（全会一致）

◆請願

請願第1号	農協改革に関する意見書の提出を求める請願	可決（全会一致）
請願第2号	上品野地区通称北山団地に於ける太陽光発電施設建設についての請願	可決（全会一致）

◆委員会提出議案

第1号議案	議会の権限に関する事項中市長の専決処分事項の一部改正について	可決(賛成多数)
-------	--------------------------------	----------

◆議員提出議案

第2号議案	瀬戸市議会基本条例の一部改正について	可決(全会一致)
第3号議案	瀬戸市議会委員会条例の一部改正について	可決(全会一致)
第4号議案	農協改革に関する意見書の提出について	可決(全会一致)
第5号議案	上品野地区通称北山団地に於ける太陽光発電施設建設についての意見書の提出について	可決(全会一致)

各議員の議案に対する賛否の状況

上記議案のうち賛否の分かれたもののみ記載

議案番号	議員名	自民新政クラブ										せと未来			ネットワークせと			公明党 瀬戸市議団		瀬戸市議団 日本共産党	無会派	無会派				
		朝井賢次	高島淳	西本潤	水野良一	宮園伸仁	富田宗一	戸田由久	山田治義	三木雪実	馬嶋みゆき	高桑茂樹	白井淳	森英一	山田伸夫	柴田恵子	中川昌也	藤井篤保	池田信子	島原治美	長江秀幸	浅井寿美	原田学	伊藤賢二	石神栄治	
第13号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
第19号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
第20号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
第21号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
第23号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
第24号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
第25号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
第28号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
第29号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
同意第1号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
委員会提出 第1号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○

【○】は賛成(同意)【×】は反対(不同意) 議員名は左より会派ごとの議席順に記載。
なお、長江公夫議員は議長職のため採決には加わりません。

《市議会からの政策提案》

今、各委員会が市の政策課題について市民のみなさんの役に立つ具体的な条例づくりを進めています。
平成30年3月定例会の一般質問において、債権管理条例制定についての提案がなされたことを受け、総務生活委員会は今年度の調査研究テーマを「市債権(市税や市営住宅の家賃や国保料などの市民が負担する各種の税金や保険料のこと)の適切なあり方」としました。テーマの研究のため福岡市を視察し、同市の滞納への取り組み状況などの調査を行ってきました。
現在債権管理条例については担当課で検討を進めていると聞いていますが、3月定例会では債権管理について、市長の専決処分事項(債権処理をスムーズにする)の改正についての議案が委員会提出議案として提出され、可決されました。

一般質問

Q: 市議の質問
A: 市の回答

市の行政課題などについて10人の議員が考え方や内容を質問しました。
質問を行った順に、一人ずつ紹介します。

高齢者施策の現状と財政の今後について



朝井賢次
自民新政クラブ

Q 市役所は今後高齢者に対しての様々な施策課題を横断的、包括的、効率的に進めていく場合、また課題を地域で共有していこうと考えた場合に現在の組織体制でよいと考えるか、見解を伺う。

A 高齢者を取り巻く様々な課題は、市全体で横断的に取組んでいくべきものであると認識しており、第6次総合計画においても分野横断型の施策体系によって都市像の実現を目指している。今後も施策課題に対して関係する各部、各課が連携しながら、地域とも情報共有し対応していく体制の強化に努めていく。

高齢者福祉課

陶磁器産業の今後の振興について



高島淳
自民新政クラブ

Q 陶磁器製品の代名詞として「せともの」は瀬戸市発祥である。しかしながら、全国的には認知度が低いと感じられる。全国にアピールするためには、消費地やメディアなどにトップセールスが必要ではないか。

A 本市の歴史はやきものづくり、ものづくりの歴史であり、また、先人たちが新しいものを生み出し、それを再構築してきた挑戦の歴史でもある。こうしたものづくりのストーリーが日本遺産の認定にもつながっている。本市の財産である「せともの」を内外に発信していく手法として、トップセールスは重要な戦略の一つであると考えている。

ものづくり商業振興課

本市における介護 予防・日常生活支援総合事業について



馬嶋みゆき
せと未来

Q 2025年に向けた計画として、本市の総合事業が市民の身体機能の向上に効果的なものとなるよう、新たなサービスの創設も含め検討すべきと考えるが見解を伺う。

A 総合事業の取り組みに関しては、健康な段階から介護予防に繋がるよう名古屋学院大学と連携しシニア世代のスポーツカレッジを新規に開催する。従来実施していた介護予防教室では、運動機能や口腔機能の向上に取り組んできたが、新たに認知機能向上の要素を取り入れたプログラムを導入し、各地域で開催する地域サロン等で開催可能な介護予防事業を検討したい。

高齢者福祉課

地域経済の振興をめざして



原田学
日本共産党瀬戸市議団

Q 地域の中小企業などの事業の持続的な振興は大きな課題である。企業誘致だけでなく地域で仕事がまわる仕組みづくりが必要である。そのためにも中小企業振興条例が必要と考えるが市の見解はどうか。

A 本市の地域経済における中小企業の役割の重要性は認識している。現も商工会議所や金融機関と連携しながら振興施策を進めているところである。振興条例の制定については、中小企業の支援に努めるなかで条例の意義や目的、また効果などを見極めながら必要性について検討したいと考えている。

産業政策課



富田 宗一
自民新クラブ

瀬戸市におけるスポーツ振興政策の取り組みについて

Q 総合型地域スポーツクラブへの支援の現状と課題は。今後どのように長期的な視点で総合型地域スポーツクラブを位置付け、スポーツ振興施策を推進していくのか。

A 総合型地域スポーツクラブへの支援については、現在、人的な支援や活動に対する財政的な支援、施設の優先利用等を実施している。今後の課題については、活動拠点の確保と運営に携わる人材の養成や確保が必要であると認識している。また、総合型地域スポーツクラブについては、幅広い年齢層へのスポーツ活動支援の実施主体の一つとして認識している。

スポーツ課



長江 秀幸
公明党瀬戸市議団

今後の窓口改革について

Q 窓口は市民と直接接する大事な部署である。常に問題意識を持ち市民サービスの向上に努めていくべきと考える。ICTの活用も図りながら、さらに市民が安心して利用しやすい窓口になるよう取り組んでいくことが必要と考えるが、今後の方針、政策について伺う。

A ICTの活用については、国の動向等に注視しながら、費用的な面についても考慮しつつ、検討を進めていく。窓口は、議員指摘のとおり市民と直接接する大事な部署である。市民が安心して利用しやすい窓口となるため、従来からの取り組みに加え、先進事例なども参考にし進めていく。

市民課



せと 未来
高桑 茂樹

停電災害について

Q 昨年9月4日午後、市内一部で台風21号による長時間停電が起こった。このような出来事を、どのように把握されているのか伺う。

A 当日午後から品野、水野、東明連区など、市内で最大約3600戸に影響があり、一部地域で最長31時間35分の停電となった。市災害対策本部でも当初から中部電力との連絡が取れない状態が続き、一部地域の被害状況や復旧見込の把握にも支障が生じ、市民の皆さんへ復旧見込みの情報提供が困難となった。今後の停電に関する最新情報については、中部電力と災害時の情報連絡体制の強化により対応していく。

危機管理課



無党派
石神 崇治

本市の行政統制と行政責任、とりわけ歳入歳出予算の編成について

Q 第6次総合計画に掲げられた3つの都市像は目指すべき方向であり進路である。政策の進捗や達成状況を的確に判断するための最終評価指数を作成し、市民に公開することで納税者へ説明責任や行政統制としていく考えはないか。

A 第6次総合計画における将来像の実現と都市像の達成は、中期事業計画や当初予算概要、決算に係る主要な施策の成果に関する報告書に示す指標で、都市像ごとの達成度を測ることにしている。各段階の資料はホームページで公表しており、記載事項の充実も図りながら第6次瀬戸市総合計画の進行管理を行っていきたい。

政策推進課



池田 信子
公明党瀬戸市議団

ご当地ナンバー導入について

Q ご当地ナンバーの活用方策については、新ナンバープレートを活用した地域振興・観光振興のための方針を有していることが、導入の基準となっている。であるならば、シビックプライド(市民の誇りと愛着)の醸成の面からも、ぜひ導入すべきであると考えているがどうか。

A ご当地ナンバーについては、過去3回、国土交通省より公募が行われ、国の導入要綱に基づき希望地域から該当の都道府県を通じ申請書を提出し、国の審査会を踏まえ決定されるものである。今後、地域住民やユーザーの意向、地域の盛り上がり等、その動向を注視していく。

シティプロモーション課



戸田 由久
自民新クラブ

道の駅瀬戸しなのについて

Q 道の駅瀬戸しなのは、地産地消を原点として農業振興を図るとともに、観光施策にも大きな役割を持つ施設である。陣頭指揮を執る副市長に将来ビジョンについて方針を伺う。

A 道の駅瀬戸しなのは、地域の農産物の展示販売、及び道路利用者への休憩や道路情報の提供のために8年前にオープンした施設である。その目的を果たすために、経営基盤を確固なものにすることが極めて重要であり、利益率の減少や経費関係の増大など課題は山積しているが、短期、中長期的な視点で戦略的に取り組んでいく。

産業政策課

“東山小学校議会”を開催!!

1月18日(金) 東山小学校の6年生134名が「議会のしくみ」や「子ども・子育て支援の話」を学ぶとともに議会の体験を行いました。

「住み続けたいまち『せと』とするために、私たちは提案します」として、第1号議案「施設について」、第2号議案「行事、イベントについて」、第3号議案「環境について」、それぞれ議論された提案内容の発表を行い、その評価を表決システムにより行い、賛成数を得点としました。また、提案を受け関係する担当課が講評を行い、まさに議場での議会体験となりました。

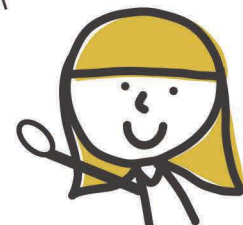
全員が順番に発表・投票・傍聴という3つの立場の席に座って真剣に取り組み、その立場が実感できたようです。議会もこのような議会体験を通して、幅広い年齢層の政治への参加を促進していきたいと思えます。



「東山小学校議会」の様子

子どもたちの感想 一部

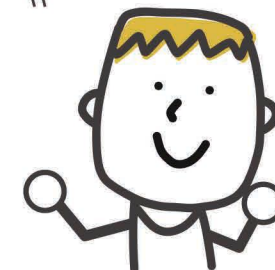
他のみんなの意見を聞いて、共感することもでき楽しく学べました。



実際に議場に入ると、雰囲気が伝わってきて、きんちょうしました。



ふだん見られないものを自分たちでやってみて、票をいれるしくみがよく分かりました。



特別委員会活動結果報告について

平成28年5月に設置された議会改革推進特別委員会では、様々な議会改革の取り組みを進めてきました。その内容について、3月定例会最終日の本会議で報告をしましたので、その一部をご紹介します。

①議会基本条例の制定

議会の最高規範となる基本条例を制定しました。これに則って活動することにより、これまで以上に開かれた議会の実現を目指し、今後も活動を進めていきます。

②市民との意見交換会を起点とした政策サイクルについて

「市民との意見交換会」を市内8中学校区で開催し、そこでいただいたご意見を起点として調査・研究を行い、政策につなげていく「政策サイクル」を確立しました。

③常任委員の任期

②の政策サイクルの内容を活用し、予算・決算審査へ有効に反映させるため、これまで1年だった常任委員の任期を2年とすることとなりました。

④正副議長選挙に係る所信表明

正副議長選挙を行うにあたり、所信表明を行うことを決定しました。「瀬戸市議会正副議長選挙に係る所信表明演説会実施要綱」を作成し、これに基づき実施していくこととなりました。



意見交換会の様子

5月臨時会等の予定

5月14日(火) 本会議

5月15日(水) 本会議

5月21日(火) 総務生活委員会・厚生文教委員会

5月22日(水) 都市活力委員会

※いずれも、午前10時(5月21日厚生文教委員会は午後1時)からの開催予定ですが、会議日程は変更される場合がありますのでご確認ください。

※本会議の様子は、瀬戸市議会のホームページからインターネット中継でご覧いただくことができます。

※6月定例会の日程は、5月中旬頃にホームページに掲載する予定です。

瀬戸市議会 Facebook をご覧ください

瀬戸市議会では、「瀬戸市議会 Facebook ページ」にて、会議の情報や議会活動の内容、お知らせなどを配信しています。

右のQRコードもしくはホームページから、ぜひご覧ください！



[瀬戸市ホームページ](#) > [瀬戸市議会](#) > [議会 Facebook](#)

編集後記 今年度から議会改革の取り組みの一つとして、市民意見を政策へつなげる仕組みが始まりました。8中学校区での意見交換会でお聞きした市民の皆さんの意見を集約し、必要に応じて市長へ政策提言を行い、その内容は、市民の皆さんへ報告及びホームページで公開してまいりました。また、読みたくなる議会だより・Facebookでのタイムリーな情報発信を心がけて活動してまいりました。今後とも、皆様のご意見やご要望を反映させていきたいと思っています。一年間、ご愛読ありがとうございました。

広報部会長 高桑 茂樹

瀬戸市議会の情報番組のお知らせ

瀬戸市議会では、以下の番組において議会情報をお知らせしております。

◇グリーンシティケーブルテレビ

「こんにちは！瀬戸市議会です。」

(地上デジタル121ch)

6月定例会放送予定

7月22日(月)から7月28日(日)まで

放送時間

(7:25～、9:25～、12:25～、18:25～、20:25～、22:25～、土・日のみ 7:25→14:25となります。)

・「6月定例会 一般質問録画放送」

※詳しくはグリーンシティケーブルテレビから配布される番組表をご覧ください。

◇RADIO SANQ

「せとまちらジオ」

(FM84.5MHz)

6月定例会放送予定

6月11日(火)

放送時間

(9:20～、12:00～、18:00～)



平成30年度
議会だより編集担当

議会だよりに関するご意見などについては、下記の問い合わせ先までお寄せください。

問い合わせ先 議会事務局 議事課 ☎ 88・2740 E-mail: giji@city.seto.lg.jp